

## ニホンザル対策について

森林づくり推進課鳥獣対策係

## 1 現状

- ・ ニホンザルによる令和5年度農業被害額（速報値）は、約6,900万円（果樹、野菜等）
- ・ ニホンザルは「群れ」で生息していることから、市町村に対し、群れの加害レベルに応じた総合的な被害対策とモニタリング等による被害防除計画の見直し等の助言、支援及び情報提供を実施

## 2 第二種特定鳥獣管理計画（第5期ニホンザル管理）（R6～R10）の概要

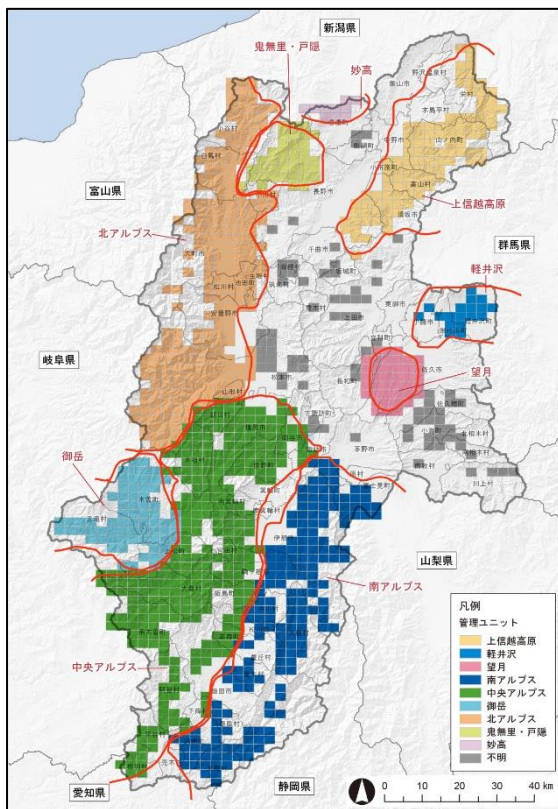
## (1) 計画の目的

科学的・計画的な管理によりサルと人が緊張感あるすみ分けを図り、ニホンザルの個体群の長期にわたる安定的な維持及び農林業被害の軽減と人身被害等を防止することを目的とする。

## (2) 主な内容

総合的な被害対策として以下の対策を実施

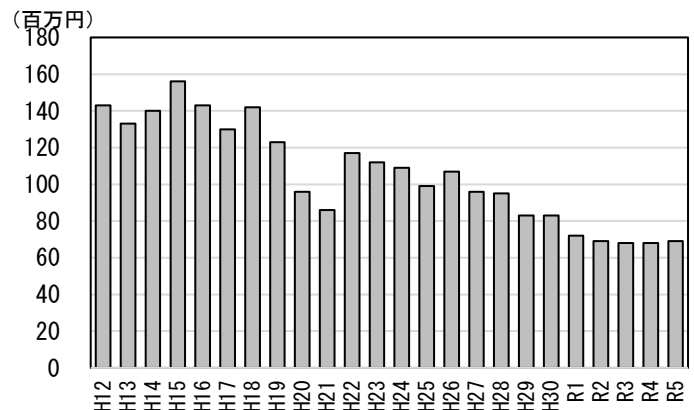
- ・ 被害防除対策 … 群れの追い払いや電気柵設置による侵入防止等の積極的な被害防除
- ・ 生息環境管理 … ニホンザルを集落に寄せ付けないための誘引物除去（廃果等）・緩衝帯整備
- ・ 個体数管理 … 群れサイズを30頭程度まで縮小させる「部分捕獲」を基本方針とする



県内のニホンザルの生息分布（令和4年度調査）

## 【県内のニホンザルの生息状況】

- ・ 平成29年度調査  
推定生息数 約11,000～16,000頭  
推定群れ数 約200～300群
- ・ 令和4年度調査  
推定生息数 約11,000～16,000頭  
推定群れ数 約210～310群



県内のニホンザルによる農業被害額の推移

## 3 第5期ニホンザル管理計画（R6～R10）の主な変更点

- ・ 追い払いなどの被害防除対策の効果を得られやすくするため、群れサイズを30頭程度まで縮小させる部分捕獲を基本とする。部分捕獲を実施、または検討し、総合的な対策を継続しても効果が現れない地域においては、選択捕獲及び全頭捕獲の実施を検討する。
- ・ 市町村毎に作成する「年次計画」に基づく「被害情報マップ」、「生息情報マップ」を統合した「生息情報マップ」を作成し、ハナレザルや小集団の生息場を含めてマップに記載。
- ・ 県内ブロックで研修会を実施し、効果的な被害対策を普及。